

互いに認め合い、一人ひとりが挑戦する十二中生！



だいじゅうに

第十二中学校



はらだ まさのぶ
校長：原田 正伸

かなざわ たかゆき
副校長：金澤 孝之

開校年月日：昭和22年4月1日（79周年）
電話番号：03-3605-2734
所在地：大谷田1-37-1
交通：亀有駅から東武バス大谷田下車徒歩5分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

学級活動の充実

WEBQU*の結果を活用し学級活動や個別のはたらきかけを行います。また、ユニバーサルデザインの視点を通して、生徒にとって居心地の良い、明日も登校したいと思える学校、学級づくりを行っています。

キャリア教育*の推進

キャリア教育における基礎的汎用能力（人間関係形成・社会形成能力や自己理解・自己管理能力などの力）の視点で、全教科・全領域で聴く力、言葉にできる力、認める力、協力する力を育成しています。また、夢デザインシートや独自の振り返りシートを活用し、キャリア教育を進めています。

スクールワイドPBS*の導入

望ましい行動や良い行いを褒めるなど生徒相互の良さを認める活動を充実させ、生徒の自己有用感を高める取り組みです。今年度はキャンペーン活動を多く行い、昨年度より充実した活動を行っています。

スモール・ステップ・ルーム（SSR*）の開設

指導員や巡回教員、登校サポーターが常駐しており、学級に入りづらいと感じた生徒が利用できる環境を整えています。

2 学力向上に対する取り組み

GIGAスクール推進校*

足立区よりGIGAスクール推進校の指定を受け、生徒主体の授業をめざし、全校をあげてICTの授業活用を進めています。

JUT（ジャンプアップタイム）などの実施

基礎学力の定着をめざし、放課後などに個別学習支援を行っています。また、夏季休業中に7日間のサマースクールと中1勉強合宿通所型（数学）を実施しています。

サタデースクールの実施

開かれた学校づくり協議会主催による学習教室を土曜日に年31回開講し、学習支援ボランティアの支援による自主的な学習に取り組んでいます。

3 学校自慢

ハイオアシス運動*

本校で50年続く生徒会本部役員が中心の活動です。毎朝のあいさつ運動と共に、より良い人間関係づくりを推進しています。

SDGsを意識した活動

ペットボトルのキャップやコンタクトレンズケースの回収を生徒会中心で行い、エコ活動に貢献しています。

生徒会によるGoogle Classroomの活用

生徒会のGoogle Classroomを開設し、生徒の意見や要望を集約し、中央委員会でも検討しています。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 *令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	82	91	112	—	285
学級数	3	3	3	—	9

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	83	34	1	0	118
令和7年度	54	33	0	0	87

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 *左は令和6年度、右は令和7年度

青井（8・2） 飛鳥未来（3・3） 足立（3・5） 足立東（3・4） 小台橋（3・1）
葛飾商業（5・4） 葛飾総合（1・2） 葛飾野（6・5） 関東第一（3・2）
共栄学園（4・1） 江北（4・2） 修徳（2・0） 竹台（2・4） 農産（3・3）
淵江（4・3） 南葛飾（4・2） 六本木（1・2）



校内清掃ボランティア



修学旅行

- * WEBQU：児童・生徒の状況を多角的に知ることができるアンケートツール。
- * キャリア教育：子ども一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくための必要な能力や態度を育てることをめざすもの。
- * PBS（Positive Behavior Support）：ポジティブな行動を、ポジティブに支援するための枠組みのこと。
- * SSR：学級に入りづらいと感じた生徒が、心を落ち着かせることのできる空間で、自分に合ったペースで学習・生活できる教室。
- * GIGAスクール推進校：学習におけるICT活用のモデル校として、2年以上さまざまな取り組みを行っている学校。活用成果の研究発表も行う。
- * ハイオアシス運動：本校の情操教育で「素直」「謙譲」「感謝」「謙虚」「反省」の5つの心を表している。

各校の標準服紹介



標準服Ⅰ型



ボロシャツ

標準服Ⅲ型

学ぶ 鍛える 思いやる

だいじゅうさん
第十三中学校校長：きくま みちと
菊間 路人副校長：おおき たかよし
大木 岳祥開校年月日：昭和22年4月1日（79周年）
今年度、80周年記念式典を実施します。
電話番号：03-3605-4711
所在地：神明南1-16-1
交通：綾瀬駅から東武バス神明南町下車徒歩5分

学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

生徒が主役となる学校

校則の見直しに加え、今年度は生徒会主体で連携小学校への学校紹介を企画し、主体的に学校づくりに参画しています。

シームレス化を図る小中連携

連携小学校3校と「足立スタンダード※」を軸とした授業を推進します。9年間を見通した系統的な指導で学力向上を図ります。

地域と連携したキャリア教育※

地域人材の協力を得て、1年生の職業講話、2年生の職場体験、3年生の面接練習などを実施し、将来を考える機会を設けます。

特別支援学級との交流

運動会などの行事を共に創り上げる交流活動を通して、お互いの個性や違いを尊重し、多様性を理解し合う豊かな心を全校で育んでいます。

2 学力向上に対する取り組み

主体的な学びの推進

めあてと振り返りを意識した授業を進めています。1人1台端末を活用し、対話や協働を通じて思考を深める力を育成します。

学力調査活用による弱点克服

学力調査結果を迅速に分析し、授業改善や理解不十分なところを補う補充学習へ直結させます。弱点克服のPDCAサイクルで、確かな学力を伸ばします。

A Iドリルと補習による基礎定着

A Iドリルと週3回程度の朝・放課後の補充学習を組み合わせ、一人ひとりのつまずきに応じた学習機会を提供することで、基礎の定着を図ります。

自由進度学習への挑戦

自ら学習計画を立てる「自由進度学習」を一部導入しています。自分のペースで主体的に学ぶ力を伸ばします。

3 学校自慢

地域と創る豊かな教育

地域のお祭りである「あしの芽祭」などへの参加や、日々の教育活動の積極的な発信により、家庭や地域と高い信頼関係を築いています。

盛んな部活動

教員に加え外部指導員を活用し技術向上を図ります。熱心に活動し、第十三中学校単独チームでの大会出場を果たしています。

「チーム十三中」できめ細かな指導

校務DXを推進し、教員に「余白の時間」を創出することにより、一人ひとりの生徒と向き合い、全教員と各家庭が連携して成長をサポートします。

多様な学びを支える環境

活気ある大規模校の良さに加え、特別支援学級・教室の充実やSSR※の新設により、一人ひとりの多様な学びを保障します。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 ※令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	169	173	193	26	561
学級数	5	5	5	4	19

障がい種別	1年	2年	3年	合計	学級数
知的障がい	9	7	10	26	4

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	186	16	0	0	202
令和7年度	154	44	2	5	205

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 ※左は令和6年度、右は令和7年度

青井（4・14）飛鳥未来（5・2）足立（13・11）足立工科（10・5）
足立新田（4・4）足立西（4・2）足立東（5・7）上野（5・2）葛飾総合（8・8）
葛飾野（7・4）共栄（3・2）江北（5・13）小松川（1・1）修徳（1・2）
潤徳女子（1・4）農産（5・3）南葛飾（6・5）日比谷（1・0）湘江（10・16）



運動会（6月）



文化祭（11月）

※ 足立スタンダード：めあてを明確にし、しっかりと考え、子ども同士で学び合う問題解決型の授業。

※ キャリア教育：子ども一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な能力や態度を育てることをめざすもの。

※ SSR：学級に入りづらいつと感じた生徒が、心を落ち着かせることのできる空間で、自分に合ったペースで学習・生活できる教室。

各校の標準服紹介

標準服Ⅰ型
フレザー
スラックス標準服Ⅱ型
フレザー
スカート標準服Ⅲ型
フレザー
スラックス(女性用)標準服Ⅳ型
ポロシャツ

さらなる前進 さらなる挑戦



はなはた

花畑中学校



校長：小池 たくや 拓哉

副校長：小田嶋 ゆうき 悠喜

開校年月日：昭和41年4月1日（60周年）

電話番号：03-3884-0731

所在地：花畑1-31-1

交通：竹ノ塚駅から東武バス

第五都営住宅下車徒歩7分

綾瀬駅・六町駅から東武バス

都立花畑学園下車徒歩5分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

校訓「信 望 愛」

花畑中といえば「信 望 愛」。校歌でも歌われ、花畑中に関わるすべての人の心に生き続ける言葉です。生徒会の「花中宣言」にも使われ、人としてめざすべき心持ちや望ましい行動が表され、自ら考え立ち振る舞えるよう、日々自分を磨くことが示された誇らしい校訓です。

学校図書館利活用校の取り組み

学校図書館での朝学活を実施するとともに、各教科の授業での学校図書館の活用を推進します。

英語教育推進校の取り組み

ゲストティーチャーを招いたり、英語による手紙のやりとりをしたりする国際教育を実施し、自分の考えや意見を発信する機会をつくっています。また近隣大学の先生と学生をお招きし、英語の授業をサポートしてもらったり、英検受験の呼びかけを行ったりします。

2 学力向上に対する取り組み

一人ひとりの生徒を大切に学習指導

足立スタンダード※を基準に、生徒一人ひとりの個に応じた学習指導をしています。

近隣2小学校と連携事業の充実

ICTを効果的に活用しながら、近隣の

小学校と連携を図り、足立スタンダードに基づく小中で共通した授業改善に取り組んでいます。

学習コンテストの実施

各教科で学習コンテストを実施し、担当教員がその結果の分析を行い、授業での指導に生かします。

3 学校自慢

色とりどりの花が咲き誇る学校

「花いっぱい運動ボランティア」では生徒がボランティアで、学校の昇降口や校庭側の花壇にたくさんの花の苗を植えてくれます。心を和ませる色とりどりの花となって、鮮やかに咲き誇っています。

積極的なボランティア活動への参加

地域行事や近隣の小学校に中学生ボランティアとして参加します。小学生を笑顔にする楽しさ、地域の役に立つ喜びなど、充実感を味わえる体験となります。

生徒が安心して学べる場所の提供と支援の充実

生徒が落ち着いた空間で学習・生活できるよう、S S R（スモール・ステップ・ルーム）を設置し、個別最適な支援をしています。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 ※令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	101	90	77	18	286
学級数	3	3	2	3	11

障がい種別 知的障がい	1年	2年	3年	合計	学級数
	9	4	5	18	3

2 卒業生の進路状況

	国公立 高校	私立 高校	*その他 の学校	就職 など	合計
令和6年度	64	23	7	0	94
令和7年度	68	29	11	5	113

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 ※左は令和6年度、右は令和7年度

青井（5・4） 赤羽北桜（0・2） 飛鳥（1・1） 飛鳥未来（2・5） 足立（6・3）
足立学園（1・0） 足立工科（1・1） 足立特別支援（3・4） 足立西（3・6）
足立東（3・2） 岩倉（1・4） 上野（1・1） 小台橋（3・0） 葛飾総合（1・6）
葛飾野（3・2） 小岩（1・1） 江北（6・4） 狛江（1・1） 忍岡（3・4）
修徳（1・1） 潤徳女子（1・0） 墨田川（1・1） 高島（0・1） 竹台（2・1）
深川（1・0） 淵江（10・12） 本所（2・5） 水元小学園（2・7） 三田（0・1）
南葛飾（1・1）



生徒が主体的に創る2大行事の1つ運動会

積極的なボランティア活動への参加
(近隣小学校)各校の
標準服
紹介スカート、パンツ
どちらでも選べますスカート、パンツ
どちらでも選べます

夏は涼しいポロシャツを着ます

夢・挑戦・自立



はなはたきた

花畑北中学校

とさか かずはる
校長：登坂 一晴さいとう あきら
副校長：齋藤 晃

開校年月日：昭和53年4月1日（49周年）

電話番号：03-3859-5031

所在地：花畑6-12-35

交通：竹ノ塚駅から東武バス花畑団地下駅徒歩5分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

ボランティア活動

地域の方々との行事（納涼祭、ガーデンプロジェクト、もちつき体験、花畑地区大運動）には、多くの生徒がボランティアとして参加しています。

花畑北スピリット

「当たり前のことを当たり前でできる学校」をめざすとともに、当たり前の「質」を上げていきます。

授業、生活での質の向上

昨年度は「自分からあいさつ」、今年度は「全力前進花北スマイル」を意識します。当たり前のことを当たり前でできるとともに、行動の質をあげていきます。

個別指導、教育相談の充実

はばたきルーム※、ほっとルーム※、かしのき教室※、SSR※ルームなど、生徒一人ひとりに寄り添った学びの場の提供を相談し、進めます。

2 学力向上に対する取り組み

授業力の向上

生徒の視点に立った「わかる」「できる」「楽しい」授業の実践に取り組んでいます。教員・生徒が授業の規律を意識し、授業の質を高めていきます。授業をする姿勢、受ける姿勢が変わること内容の充実の向上をめざしています。

補充学習の充実

毎月、教科（国・数・英）を変えて確認テストを行います。また、苦手やできない部分に対応するために、放課後の補充学習の時間に練習をします。さらに、補習時間のまとめテストとして、STEP-UP 検定（国・英）も行い、合格率80%以上をめざします。

朝読書、学校図書館利活用

朝読書は慌ただしく登校した生徒も読書の時間で心を落ち着かせることができます。各教科において、図書室を利用した授業を展開します。学校司書とも連携を図りながら、本に親しむことができる環境を構築していきます。

思考ツール、AIドリルの活用

自分の考えを図式化して、整理するための思考ツールを活用した授業に取り組みます。また家庭学習では、AIドリルに取り組みます。家庭での学習の習慣を身につけていきます。

3 学校自慢

一人ひとりが主人公

多くの生徒が委員会や委員長、実行委員、行事の代表を経験します。成功体験、代表としての責任を感じ、自信につながります。

保護者、地域の方との温かい連携

1年間を通して学校、PTA、開かれた学校づくり協議会、おやじの会、地域の方々とともに多くの行事を行っています。全校で4学級と小規模の学校ですが、活気にあふれ、みんなが笑顔になっています。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 ※令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	51	31	37	—	119
学級数	2	1	1	—	4

2 卒業生の進路状況

	国公立 高校	私立 高校	*その他 の学校	就職 など	合計
令和6年度	32	7	0	1	40
令和7年度	31	5	0	2	38

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 ※左は令和6年度、右は令和7年度

青井（1・2）飛鳥未来（0・1）足立（3・1）足立工科（0・1）足立西（4・5）足立東（4・1）上野（1・0）N高校（1・0）小台橋（1・1）葛西南（0・1）葛飾総合（1・0）関東第一（0・1）共栄学園（1・0）京華商業（1・0）小岩（0・1）工芸（0・1）江東商業（1・0）江北（1・0）渋谷幕張（1・0）修徳（1・0）十文字（1・0）潤徳女子（0・1）城東（1・0）新宿山吹（1・1）成立学園（0・1）瀧野川女子学園（1・0）竹台（1・0）竹早（0・1）多摩（1・0）館山総合（1・0）豊島（1・0）富士未来（0・1）一橋（0・2）湘江（8・13）南葛飾（1・0）

各校の
標準服
紹介

標準服Ⅰ型



標準服Ⅱ型



標準服Ⅲ型



もちつき大会



ガーデンプロジェクト

※ はばたきルーム：別室でオンライン授業を受けられる部屋。

※ ほっとルーム：気持ちを落ち着かせることができるように用意された部屋。

※ かしのき教室：教室に入れない子が教室に入るためのコミュニケーション教室。

※ SSR：学級に入りづらいと感じた生徒が、心を落ち着かせることのできる空間で、自分に合ったペースで学習・生活できる教室。

校章の由来▶学校の樹である榎の木の葉をデザインして作られたものです。

向学・協力・挑戦



はなほ

花保中学校



校長：村田 雅也

副校長：小島 徹

開校年月日：昭和54年4月1日（48周年）

電話番号：03-3859-8011

所在地：南花畑2-41-1

交通：六町駅または綾瀬駅から東武バス
東保木間下車徒歩2分
竹ノ塚駅から東武バス南花畑下車徒歩2分

学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

地域と連携した教育活動

職場体験、花保未来ラボ（職業人の話を聞く会）や、地域の「花保フェスタ実行委員会」が中心となり、生徒向けに開かれる花保フェスタ、ASK カフェ、また、3年生面接練習会などを、地域・開かれた学校づくり協議会・学校運営協議会がサポートしています。

福祉プロジェクト

特別支援学校との交流、車椅子体験学習、認知症サポーター養成講座、高齢者声かけ訓練を行っています。

健康教育

性と生の授業、救急救命講習、命の授業、がん教育を行っています。

全生徒が一丸となるさまざまな行事

運動会・文化祭・学習作品展・ビブリオバトル*など、同じ目標に向かって取り組んでいます。

2 学力向上に対する取り組み

各種コンテストや朝学習

漢字コンテスト・計算コンテスト・スペリングコンテスト（年1回ずつ）を行ったり、毎朝、各学年で設定した5教科の学習課題に取り組んだりします。2週間ごとにまとめテストで学習の定着を確認。年に2回、新聞コンテストも実施しています。

放課後の補修教室

朝学習まとめテストで不十分な生徒を合格するまで指導する学習サポート、テスト対策、各教科の課題提出の支援など充実しています。

各種検定の受験を奨励

準会場として検定を実施。数学検定、英語検定、漢字検定の対策講座をしています。

自主学习ノート

全校で自主学习ノートを毎日1ページ以上取り組み、学習作品展で掲示しています。

3 学校自慢

みんな仲よし

全校生徒287人！学校全体が家族のようなアットホームな学校です。

一人ひとりが主役

行事、生徒会・委員会活動、部活動、そして行事での実行委員会などのさまざまな活動を通して、一人ひとりが3年間で成長します。

面倒見が良い

担任・副担任だけでなく、教科や部活動の教員と学年を越えての関わりがもてる環境です。

ASK カフェ

ASKとは「After School Katariba」。開かれた学校づくり協議会が主催となり、NPO 法人「カタリバ」と連携して運営します。毎月1回水曜日の放課後に実施します。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 *令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	95	97	95	—	287
学級数	3	3	3	—	9

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	61	38	0	1	100
令和7年度	70	24	1	0	95

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 *左は令和6年度、右は令和7年度

青井（3・1）飛鳥未来（6・1）足立（3・8）足立工科（1・4）足立新田（1・1）
足立西（6・2）足立東（2・5）小台橋（1・1）葛飾野（6・4）関東第一（1・0）
共栄学園（3・1）江北（5・5）国際（2・0）駒込（2・0）潤徳女子（3・2）
城東（2・1）正則学園（3・0）竹早（2・2）東海大高輪台（2・0）東洋（2・1）
戸山（1・1）農産（1・4）日比谷（1・0）淵江（9・3）三田（3・1）



ビブリオバトルの写真



車いす体験の写真

各校の標準服紹介



標準服Ⅰ型

標準服Ⅱ型



標準服Ⅰ型のリボン

ポロシャツ

思いやる 自ら学ぶ やり通す



ひがししまね

東島根中学校



校長：大瀧 訓久

副校長：宮崎 亜希絵

開校年月日：昭和35年9月1日（66周年）

電話番号：03-3884-1331

所在地：平野1-27-2

交通：北千住駅または竹ノ塚駅から都営バス島根町下車徒歩8分

綾瀬駅から東武バスツ家二丁目下車徒歩4分

六町駅から徒歩20分

梅島駅から徒歩21分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

毎朝の「朝読書・朝学習」で感性を育む

朝の静寂した教室で、学習・読書を通して感性を高め、落ち着いた1日のスタートを切ります。

キャリア教育※による生き方指導

自己、そして将来の自分について考え、アイデンティティの確立をめざします。また体験学習を通してよりよい人間関係も学習します。

生徒1人に対してタブレット端末1台

タブレット端末を活用し個別最適な学習を実践します。

生徒・保護者・地域から信頼される丁寧な指導

生徒・保護者ともに学年全ての教員に相談できる環境です。

2 学力向上に対する取り組み

足立スタンダード※の徹底

ねらい、まとめ・振り返りを確実にを行い、家庭学習につなげます。

東島根っ子ノートの活用

家庭学習ノートを教員が毎日添削し、コメントを書き入れアドバイスをを行います。学習以外の内容についてもふれ、担任との信頼関係を深めています。

朝補習、サマースクールの実施

朝の学活前、夏季休業中に生徒のできな

いことをできるようにします。

学習コンテストの実施

年4回実施し、自己の課題を知り克服しようという意識をもたせます。

3 学校自慢

特別活動の充実

各種行事などを通して、自尊感情を高め、自己肯定感・自己有用感を高めます。

生徒会活動の充実

宇宙一幸せな学校創りをめざし、全生徒で学校のきまりなどを討論し、学校が生徒にとって最も生活しやすい居場所となることをめざしています。

地域の方との交流

「おらが町の学校」と思っていたい地域のの方の力を学校に取り入れ、生徒に社会性を身につけてもらいます。また、毎月1週間あいさつ運動を行い、顔見知りになりあいさつできる大人を増やすことで、生徒に安心感を与えています。

生徒に考えさせ、主体的に自己決定できる場をつくっています

冬服・夏服の服装は生徒自身が、その日の気温などにより自分で判断します。

また標準服はスカート・スラックスから選ぶことができます。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 ※令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	116	125	96	—	337
学級数	4	4	3	—	11

2 卒業生の進路状況

	国公立高校	私立高校	*その他の学校	就職など	合計
令和6年度	67	14	0	4	85
令和7年度	70	31	1	1	103

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 ※左は令和6年度、右は令和7年度

青井（1・2） 赤羽北桜（2・1） 飛鳥（1・1） 飛鳥未来（2・8） 足立（8・7）
足立工科（0・1） 足立新田（2・4） 足立西（3・1） 足立東（2・1） 上野（2・2）
王子総合（2・3） 小台橋（2・3） 葛飾商業（1・3） 葛飾総合（1・1）
葛飾野（0・2） 桐ヶ丘（1・1） 小岩（1・3） 工芸（0・2） 江東商（0・1）
江北（9・5） 小松川（0・1） 小山台（0・1） 桜町（0・1） 忍岡（0・2）
城東（0・2） 新宿山吹（0・1） 墨田川（0・1） 竹早（0・1） ニセコ国際（0・1）
東（0・1） 深川（1・1） 淵江（9・9） 本所（1・3） 向丘（1・1）



花壇ボランティア 地域の方とともに！



運動会3年生が中心となった縦割りでの全校競技

各校の標準服紹介



標準服スカート 標準服ズボン



夏服は、ポロシャツもあります。

校章の由来▶開校当時、見渡す限りの田畑で、この土地の菊づくりが盛んに行われていました。当時は、木一本なく、学校生活に潤いをもたらすために校庭の周りに草木を植えました。特にその中で、白菊は中学生の清純さをそのままに香り高く咲き誇っていました。

※ キャリア教育：子ども一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な能力や態度を育てることをめざすもの。
※ 足立スタンダード：めあてを明確にし、しっかりと考え、子ども同士で学び合う問題解決型の授業。

何事にも全力



ふちえ

淵江中学校



校長：伊東 一

副校長：広瀬 圭介

開校年月日：昭和35年4月1日（67周年）

電話番号：03-3885-0039

所在地：保木間3-6-6

交通：竹ノ塚駅下車徒歩20分

竹ノ塚駅から東武バス保木間三丁目下車徒歩1分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

全力でつくり上げる三大大事

（運動会・文化祭・合唱コンクール）

伝統を継承し、さらなる高みをめざして、互いに認め合い、励まし合い、高め合い、感動・感謝の気持ちを育みます。

運動会では、全学年の有志による伝統ある応援団の3年生がリーダーシップを発揮し、全力で取り組む素晴らしさを伝えます。

文化祭では、ミュージカルや演劇などの創作活動において1人1役を担い、学年全員で舞台をつくり上げ、表現力を磨きます。

合唱コンクールでは、1年間、共に過ごした学級での団結する力を、学年の最後に合唱で伝えます。

地域活動への積極的な参加

地域清掃活動などに積極的に参加し、地域に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを育みます。

2 学力向上に対する取り組み

基礎学力定着を図る取り組み

AIドリル（Qubena※）を活用した補充教室（年間80日）で5教科（国・数・英・社・理）の基礎学力の定着を図ることや、サマースクール（6日）における個に応じた学習支援を行います。また、家庭学習ノートを毎日提出・点検することで家庭学習支援を

行っています。

学習機会の拡大を図る取り組み

個々の学習改善を図るための学習の手引書「Learning 淵江」を周知し、定期考査1週間前から5教科（国・社・数・理・英）を中心に放課後1時間程度補充教室を行います。また、読書週間の定着と読解力の向上を図るために、全校で一斉に朝読書を実施しています。

検定受検の推進

全校体制により年間各3回の漢字検定・英語検定を実施します。3年間で50%以上の生徒がいずれかの検定で3級以上取得をめざしています。

放課後学習教室

学習の支援が必要な生徒を対象として、学習支援ボランティア（大学生4名）と一緒に放課後1時間、家庭学習のノートの取り組み方を向上させるための補充教室に取り組みます。

3 学校自慢

明るく活気にあふれた学校生活

さわやかに、大きな声であいさつすることを日常化し、何事にも全力で取り組みます。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 ※令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	116	143	193	—	452
学級数	4	4	5	—	13

2 卒業生の進路状況

	国公立 高校	私立 高校	*その他 の学校	就職 など	合計
令和6年度	94	35	0	1	130
令和7年度	103	46	0	1	150

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 ※左は令和6年度、右は令和7年度

青井（6・3） 足立（11・21） 足立工科（6・8） 足立西（5・4） 足立東（2・3）
 岩倉（7・4） 上野（1・2） 慶應義塾（0・1） 江北（5・9） 城東（1・2）
 墨田川（4・3） 竹台（3・1） 東海大学付属高輪台（5・1） 淵江（23・16）
 本所（2・1）



運動会（応援団のようす）



文化祭

各校の標準服紹介



標準服Ⅰ型



標準服Ⅱ型



標準服Ⅲ型（女性用）

カバン

みそあじ言



や な か

谷中中学校



校長：三輪 政継

副校長：石川 裕康

開校年月日：昭和54年4月1日（48周年）

電話番号：03-3620-6662

所在地：谷中3-14-1

交通：北綾瀬駅下車徒歩9分



学校でのさまざまな活動や取り組み

1 特色ある教育活動

インクルーシブ教育とSWPBS※（スクール
ワイドポジティブ行動支援）

一人ひとりが生き生きと活動し、笑顔で輝ける学校をめざした活動を展開しています。行事や委員会、SWPBSの観点を取り入れた活動を行うとともに、日常的に生徒が主体となって活躍できる機会を設けています。具体的には、休み時間や委員会など場面ごとに行動目標を設定し、目標に向かって生徒同士で声をかけあっています。

国際教育

多様な視点を身につけるために、全教科において国際教育に重点を置いた活動を行っています。また、さまざまな英語交流体験を通してコミュニケーション能力を育成します。

小中連携教育

小学校と連携し、9年間を見通した学習者主体の授業改善、授業見学や部活動体験などの交流で、充実した教育活動を展開しています。

盛んな学校行事

体育祭、文化祭、ビブリオバトル※などのさまざまな行事で、生徒実行委員が立ち上がり、一人ひとりが主体となって活躍しています。

2 学力向上に対する取り組み

谷中探究プログラム

自分で課題を設定し、年間を通してさま

ざまな手段で情報を収集、分析を行い、発表する探究活動に取り組んでいます。

基本的学習習慣の確立

日頃からA1ドリルを活用しています。朝読書・朝学習で落ち着いて学習に取り組む姿勢をつくります。

谷中スタディタイム（YST）

放課後補充教室では、個別や少人数指導で学習支援を行っています。

サマースクール

夏休み中の6日間、苦手を克服することを目標に、数学や英語を学習し、3年生は受験を視野に入れて取り組んでいます。

3 学校自慢

みそあじ言

日々の生活スローガンとして、浸透しています（み…身だしなみ そ…掃除 あ…あいさつ じ…時間 言…言葉遣い）。

地域・社会との協働

さまざまな出前授業や交流活動・支援を通して、先生方の負担軽減を図りつつ、専門家の力を借りて教育課題を解決しています。

生徒会企画

生徒会が中心となり、生徒主体で全校の交流を図る企画を行っています。

生徒主体の生徒会活動

生徒会朝礼では、各委員会の活動報告やお願いなどを伝えています。また、意見箱などを活用して生徒の声を聞き、委員会の垣根を超えて活動しています。

学校基礎データ

1 生徒数・学級数 ※令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	159	142	143	—	444
学級数	5	4	4	—	13

2 卒業生の進路状況

	国公立 高校	私立 高校	*その他 の学校	就職 など	合計
令和6年度	90	52	2	1	145
令和7年度	108	51	0	5	164

※ 専修学校などを指します。

3 主な進学先 ※左は令和6年度、右は令和7年度

飛鳥未来（10・6） 足立（10・8） 足立東（5・5） 上野（2・6） 葛飾野（9・8）
共栄学園（6・3） 江北（3・9） 駒場（1・1） 修徳（2・2） 墨田川（2・1）
日本橋（6・1） 湘江（13・11）



SWPBSの活動



生徒会企画

各校の
標準服
紹介

標準服①学ランタイプ



標準服②セーラー+スカートタイプ



標準服③セーラー+スラックスタイプ